

Microsoft Officeのセキュリティポリシー変更について

・Microsoft Office の「バージョン2203」以降でネットワーク上のVBAファイルがデフォルトでブロックされます ・ネットワーク上の DSmartPro をブロック回避するためには各PCでのセキュリティ設定を変更する必要があります

2023.4.24 改訂

Microsoft社はセキュリティ対策強化を目的にネットワーク上のVBAプログラムをデフォルトでブロックする方針に変更しました。 2022年4月中旬*より配布され始めた Microsoft Office の「バージョン2203」から対象になります。

このアップデートが実施されたPCでは、今まで動作していたネットワーク上のVBAプログラム(DSmartProも対象)を**起動でき** なくなります。

* Microsoft Officeのライセンス形態によって更新スケジュールが異なるが、順次実施予定。

* Microsoft社の関連サイト: https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/security/internet-macros-blocked



対処策として以下3つの方法をご紹介します

方法1:DSmartPro が置かれる場所を「インターネットオプション」でローカルイントラネットとして登録する 方法2:DSmartPro のデジタル署名を Excel の「信頼できる発行元」として設定する 方法3:DSmartPro が置かれる場所を Excel の「信頼できる場所」として設定する

どれも有効ですので、運用しやすい方法を選択してください。

尚、 Microsoft Office が上述のバージョンにアップデートする前に設定を済ませておくことを強くお勧めします。

詳細な設定方法について次ページから解説します。

【重要】システム管理者にご確認の上、進めていただくことをお願いいたします。

方法1:DSmartPro が置かれる場所を「インターネットオプション」で ローカルイントラネットとして登録する 【重要】実施にあたってはシステム管理者への確認を必ず行ってください。

- 「コントロールパネル」→「インターネットオプション」を開く。
 ※「インターネットオプション」をキーワードで検索すると呼び出せます。
- ②「セキュリティ」タブをクリックし「ローカルイントラネット」を選択する。
- ③「サイト」をクリックする。
- ④「詳細設定」をクリックする。
- ⑤ DSmartPro が置かれる場所(IP アドレスやサーバー名)を ¥¥[IP, 名称]の形式で入力する。
 例:¥¥192.168.0.100
- ⑥「追加」をクリックする。
- ⑦ 追加されたことを確認し、「閉じる」をクリックする。
- ⑧ 残った画面を「OK」をクリックして閉じる。
- ⑨ DSmartPro が起動できることを確認する。

インターネットのプロパティ ?	×
全般 セキュリティ セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。	 以下の設定を使って、ローカルイントラネットゾーンに含まれる Web サイトを定義してください。 イントラネットのネットワークを自動的に検出する(D) 「カのゾーンに指定されていないローカル (イントラネット)のサイトをすべて含める(Z) ブロキシ サーバーを使用しないサイトをすべて含める(P) 「ダベてのネットワーク パス (UNC)を含める(N) イントラネット設定の詳述 詳細設定(A) OK
このゾーンのセキュリティのレベル(L) カスタム設定 - 設定を表更するには、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックしま す。 - 推奨設定を使用するには、[既定のレベル ボタンをクリックしま す。 (保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P) レベルのカスタマイズ(C) 既定のレベル(LO) すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R) OK キャンセル 運用(A	
 ▲ ローカルイントラネット このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。 この Web サイトをゾーンに追加する(D): ¥¥192.168.0.100 追加(A) Web サイト(W): 	 CのゾーンのWebサイトの追加と削除ができます。このゾーンのWebサイトの追加と削除ができます。このゾーンのWebサイトをゾーンのセキュリティ設定が適用されます。 このWebサイトをゾーンに追加する(D): 追加(A) Webサイト(W): file//192.168.0.100
□ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S) 閉じる(C)	□ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S) 閉じる(C)

方法 2: DSmartPro のデジタル署名を Excel の「信頼できる発行元」として設定する 【重要】実施にあたってはシステム管理者への確認を必ず行ってください。

下記表示が出る場合には、4/6ページ【ブロックメッセージが出ている場合】に進んでください。

自動保	存 • 17	89	~ C1 ~ =		Start.xls	m - 読∂	り取り専用	•		₽ 検索(
ファイル	木一ム	挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示	開発	ヘルプ	
🛞 t#	ユリティ リス	<u>ל במסד</u>	イルのソースが信頼できな	いため、M	icrosoft (Z	よりマクロの	実行がプロ	コックされまし	<u>Jt.</u>	詳細を表示

- ① Excel (空の Excel) 開き「ファイル」→「オプション」→「トラストセンター」の画面で 「トラストセンターの設定」をクリックする。
- マクロの設定」をクリックして、「デジタル署名をされたマクロを除き、すべてのマクロを 無効にする」にチェックを入れて「OK」をクリックする。

Excel のオプション	トラストセンター	? ×
全般 数式 データ 文章校正 保存 冨蹈 国知道の	信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼できる場所 信頼できるアドインカタログ アドイン ActiveXの設定 マクロの始ま	マクロの設定
met+9511 詳細設定 リボンのユーザー設定 クイック アクセス ツール バー アドイン トラスト センター		✓ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを掲載する(⊻)

- ③「トラストセンター」を「OK」で閉じ、Excelを一旦閉じる。
- ④ DSmartPro を起動する。
- ⑤「セキュリティ警告」が表示されマクロが無効化される。
 「ファイル」→「情報」または「マクロが無効にされました」をクリックする。

	_							_			
自動	保存 • 12 日	5-∂-≩+	녞 -					Start.	xls - 互	換モード	- Excel
ファイル	<i>, 9</i> 95 ホーム	挿入 ページ	ッレイアウト 数	式 データ	校閲 表示	開発	ヘルプ	♀ 実行し	たい作業	を入力し	べください
一元に戻す	フォント(F): MS P フォント サイズ(F):	ゴシック・ 11 、 文字拡大	A A フォント 文字縮小 フォント の色・						•	741L	コピー 貼り付
元に戻す	. <u> </u>	フォント				手がき				編集	
10 2	キュリティ マクロ	が無効にされました。	コンテンツの有	効化							

⑥「コンテンツの有効化」続いて「詳細オプション」をクリックする。

\bigotimes	
情報	情報
新規	Start
開く	¥¥192.168.0.100 » share » DSmartPro » DEMO
上書き保存	セキュリティの警告
名前を付けて保存	アクティンコンテンツには、ソイルスが含まれているが、その他でキュリティ上の危険性がある可能性があります。次のコンテンツが無効になっています:
FORM	の有効化 - マクロ
PP-943	すべてのコンテンツを有効にする(C) ケンツを有効にしてください。
共有	すべてのアクティブ コンテンツをこのセッションのみで有
エクスボート	×//c//39
	a+maハンション(ひ) 有効にするアクティブ コンテンツを選択します。選択し
発行	たコンテンツは、このセッションのみで有効になります。
閉じる	▼■11 OTICE WARMON、プランに下乗する際に両規則が起きないようにするため、一部の助機能が無効に 変換 なっています。このファイルを変換すると、これらの機能は有効になりますが、レイアウトの変更が必要に なる場合があります。

⑦ セキュリティオプションの画面が開くので「この発行者のドキュメントをすべて信頼する」 にチェックを入れ「OK」をクリックする。

DスマNEWS Vol.63



- ⑧ DSmartPro が起動する
- ⑨ ①と同じ手順で「トラストセンター」→「トラストセンターの設定」を開き「信頼できる発行元」を表示させ「Property Data Technos, Inc.」が追加されたことを確認する。



10 DSmartPro を終了する。

以後、DSmartPro はセキュリティ警告を受けることなく起動する。

【ブロックメッセージが出ている場合】



DSmartPro を起動する際に上記の表示が出て停止する場合、以下の手順に従ってください。

- (1) 事前に前述①~③を実行する。
- (2) メインプログラム DSmartPro_v9.xlsm と同一階層にある Start.xlsm をデスクトップなどの ローカルドライブにコピーする。
- (3) (2) でコピーした Start.xlsm を開く。
- (4) 前述567を実行する。
- (5) Start.xlsm が起動して「プログラムファイルが見つかりません。」というメッセージが出るが「OK」をクリックしてメッセージを閉じ、次いで Start.xlsm を閉じる。
- (6) (2) でコピーした Start.xlsm を削除する。
- (7) DSmartPro を起動する。
- (8) 前述⑨⑩を実行する。

- 方法 3: DSmartPro が置かれる場所を Excel の「信頼できる場所」として設定する 【重要】実施にあたってはシステム管理者への確認を必ず行ってください。
 - ① Excel (空の Excel) 開き「ファイル」→「オプション」→「トラストセンター」の画面で 「トラストセンターの設定」をクリックする。
 - ②「マクロの設定」をクリックして「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェック を入れて「OK」をクリックする。

Excel のオブション	トラスト センター			
全般 数式 データ 文章校正 保存 副語 脳単操作 詳細設定 リボンのユーザー設定 クイタク アウセス ツール バー アドイン トラスト センター	PXF 世少子 任報できる現行 低類できる現所 低類できる場所 低類できる場所 低類できる場所 低類できるアレイン かりの アドイン なけいなくの時な マクロの設定 マートが来自会相互な マクロの設		<i>*</i>	
		ОК	キャンセ	211

- ③「信頼できる場所」をクリックし、続いて「新しい場所の追加」をクリックする。
- ④ 開いた画面でパスの欄に信頼できる場所として設定したいサーバー名を設定する。「この場所のサブフォルダーも信頼する」にチェックを入れ「OK」をクリックする。

: これらの場所はすべて、ファイルを聞くのに安全な場所	「であると目なされます、場所を変	更または追加する場合は、その場所が9	安全であるごとを確認し、
U.			C12 (0) 9 0 C C MADO
б_¥тлна	説明		更新日
rosoft Office の信頼できる場所	7 X	所: ユーザー テンプレート	
		所: Excel スタートアップ	
i:この場所は、ファイルを開くのに安全な場所であると§ 加する場合は、その場所が安全であることを確認してく	見なされます。場所を変更また ださい。	所: アプリケーション テンプレート	
(<u>P</u>):		所: Office スタートアップ	
eigyo01		けい: アドイン	
	参照(旦)		
この場所のサブフォルダーも信頼する(S)			
l(Ω):			
■ ←必要に応じ記人	× (
2022/06/15 9:43			
	OK		
ス(P): C:¥Users¥糸質一穂¥AppData¥Rc 明(D): Excel の既定の場所: ユーザー テンプ	oaming¥Microsoft¥Templa ノート	tes¥	
新日: プラォルダー・ 不許可			
erenter i Trica		新しい場所の追加(A) 削除	(B) 変更(M).
目分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する	(推奨しません)(W)		
べての信頼できる場所を無効にする(D)			
	・この場所に、ファイルを用いた、支生体制 ・ゴー指定の場所 roacht Office の信義できる場所 ・この場所に、ファイルを観々が、安全な場所であると が通うる場合は、その場所が安全であることを確認して (P):	Clowamila 9-KL 5/41ルを開び0.5至主な場所であると見は21(3 *, 4m)を主 Display 10	COMMANDARY CLIPPINE NOL SERVENTIC SOC PARACILLA S., MERICE SERVER LA MANU SOME DE LA MANU SOLUCIONAL DE LA MANU SOLUCIONAL DE LA MANU SOLUCIÓN DE LA MANU SOLU

【注】信頼できる場所として設定したいサーバーの Path に IP が含まれる場合、そのままでは設定できな いため、6/6 ページ【サーバーの Path に IP が含まれる場合】に進んでください。

⑤ サーバー名が追加されたことを確認する。

「自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する」にチェックを入れ「OK」をクリッ クする。

EMR C2 9961 J75	信頼できる場所		
信頼できる場所			
三頼済みドキュメント	警告: これらの場所は9へて、ファイルを闻くのに女主な場所である ください。	5と見なされます。場所を変更または近川する場合は、その場	「小小女王であるここを確認し
言頼できるアドイン カタログ	1/12	説明	更新日▼
78.73	ユーザー指定の場所 VVoigue 01V	**********************	2022/06/15 0
ActiveX の設定 ウロの設定 程度ビュー やセージ バー ト部コンテンツ たって、 たって、 マック イル制限機能の設定 たって、 マック 、 マック、 マーク、 マッ マッ マッ マッ マッ マッ マッ マッ マッ マッ	C:WWHGroot: Office¥Root¥Office16¥51AR1UP# C:Wiles¥Hicroof: Office¥Root¥Office16¥UbreHates¥ C:WawHicroof: Office¥Root¥Office16¥XLSTART¥ C:Wp¥Hicroof: Office¥Root¥Office16¥XLSTART¥ C:Wpbatx¥Roaming¥Microof¥ExceMXLSTART¥ C:Wpbatx¥Roaming¥Microsoft¥Templates¥ ポリラーによって設定された場所	Amenta Excel の風走の場所: Office スタートアップ Excel の最近の場所: アアレイン Excel の最近の場所: アフルーーション テンルート Excel の最近の場所: Excel スタートアップ Excel の最近の場所: ユーザー ス・アンパート	2022/00/13 9.
יסיותン− オノション フォームペースのサインイン			

- ⑥「トラストセンター」を「OK」で閉じ、Excelを閉じる
- ⑦ DSmartPro を起動する

【サーバーの Path に IP が含まれる場合】

前述の「信頼できる場所」として設定したいサーバーの Path に IP が含まれる場合、そのままで は設定できないため、以下の処置を行う。

(1) システムファイル「hosts」の編集

hosts の場所: C:¥Windows¥System32¥drivers¥etc¥hosts

- ・「メモ帳」を管理者として実行し hosts を開く。
- ・一番下の行に「信頼できる場所」として設定したいサーバーの IP アドレスと名称を [IP アドレス][半角スペース][名称] の形式で入力する。
 例:192.168.0.100 eigvo01
- (2) Excel のトラストセンターを開く(前述③④と同様)
 - ・「信頼できる場所」を開く。
 - ・「新しい場所の追加」をクリックする。
 - ・パス(P)の欄に先程指定したサーバー名を設定する(正確に手打ちする)。
 例:¥¥eigyo01
 - ・「この場所のサブフォルダーも信頼する」にチェックを入れ OK ボタンをクリックする。
- (3) サーバー名が追加されたことを確認する(前述⑤と同様)。

「自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する」にチェックを入れ「OK」をクリ ックする。

- (4)「トラストセンター」を「OK」で閉じ、Excelを閉じる。
- (5)(3)のサーバーのショートカットを作成する。
- (6)(5)のショートカットのプロパティを開く。
- (7) リンク先を下記のように変更して適用→OK する。
 - (例) ¥¥192.168.0.100 → ¥¥eigyo01
- (8)(7)で変更したショートカットをクリックし、サーバーのディレクトリを開く。
- (9) (8)のディレクトリ内の DSmartPro のメインプログラムが置かれたフォルダを開き、

MkShortcut.xlsm を動作させ DSmartPro 起動用ショートカットを作成する。

(10) (9)の DSmartPro 起動用ショートカットをクリックし、DSmartPro の起動を確認する。